

ひょうご・データ利活用プランの概要

1 趣旨・位置づけ

2019年4月に「ひょうご・データ利活用プラン」を策定
(官民データ活用推進基本法に基づく官民データ活用推進計画)

【位置づけ】

- ・「兵庫2030年の展望」がめざす「すこやか兵庫」の実現に向けたICTとデータ利活用の指針
- ・民・産・学・官が、ICTとデータ利活用の方向性を共有するビジョン

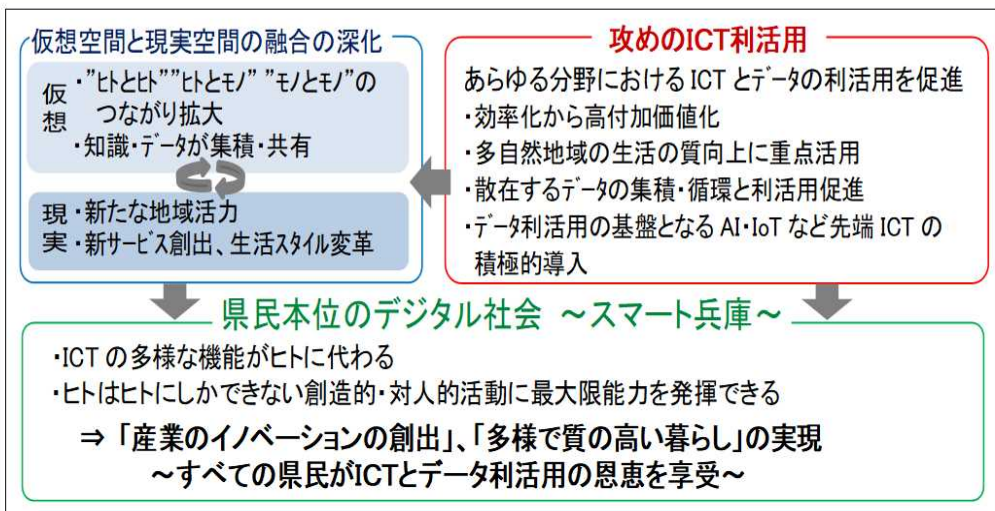


【想定年次】2030年ーICTとデータ利活用の将来像を想定

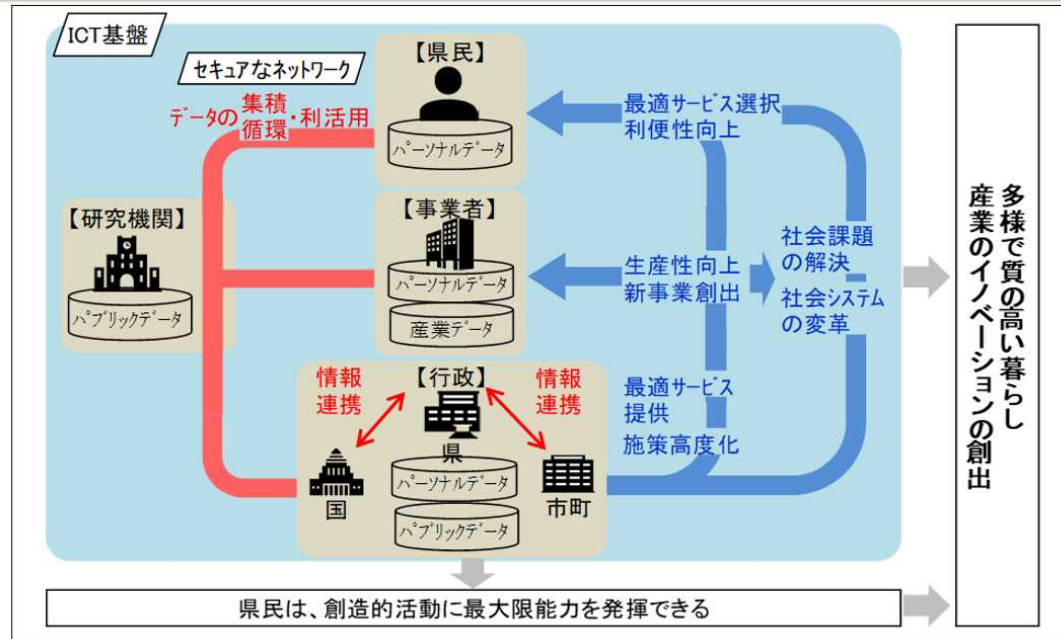
【推進期間】2019年度～2021年度の3年間

2 基本理念

県民が創造的活動に最大限能力を発揮できるデジタル社会～スマート兵庫～を構築し、「産業のイノベーション創出」と「多様で質の高い暮らし」を実現するため、あらゆる分野・場面におけるICTとデータの利活用“攻めのICT利活用”を促進

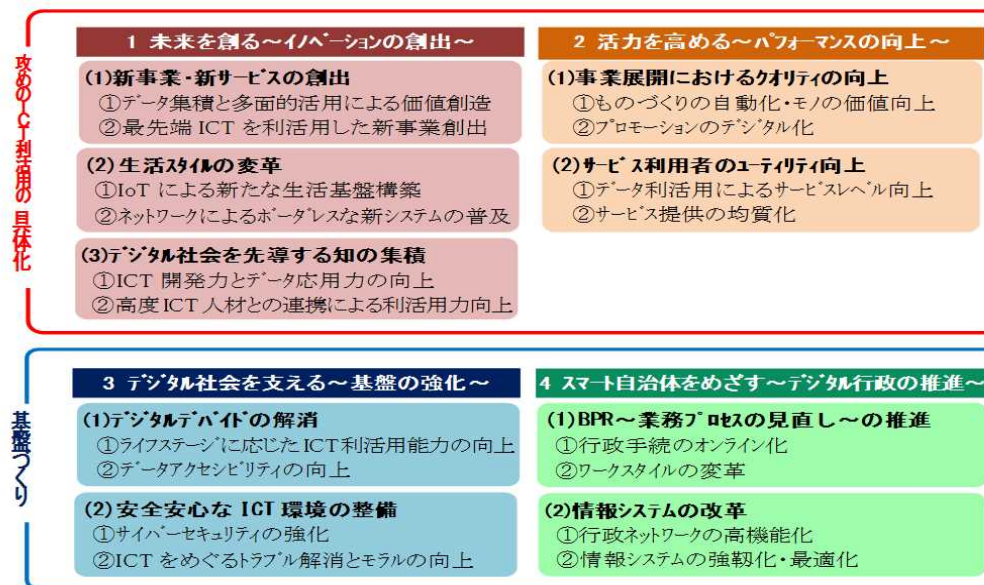


3 スマート兵庫のイメージ



4 4つの重点方針

“攻めのICT利活用”を推進するため、次の重点方針のもと取組を展開



【取組の方向性】

【主な県の取組】

1 未来を創る ～イノベーションの創出～ イノベーションにより、産業力強化と社会システム変革の好循環を実現し、未来を創る、新たな価値を創出します

(1)新事業・新サービスの創出	①データ集積と多面的活用による価値創造	データの多面的活用によるオープンイノベーションの促進 ・「散在するデータの集積・循環と利活用」 ・「パーソナルデータの利活用」 ・「リアルタイムデータの収集と利活用の充実」 ・「データのオープン化」	・ビッグデータの健康づくりへの活用促進 ・スマートシティの推進 ・全県的なオープンデータの促進(地理空間データ・カタログサイト)
	②最先端ICTを利活用した新事業創出	兵庫の強みであるスーパーコンピュータ等最先端ICTを活かし、次世代産業育成を促進 ・「新たなICTの技術開発」 ・「研究・開発プロセスでの先端ICT利活用」 ・「新たなビジネス領域を開拓するICT利活用」	・兵庫情報ハイウェイの利用促進 ・最先端技術研究(COEプログラム)の推進
(2)生活スタイルの変革	①IoTによる新たな生活基盤構築	・「自動運転バス・ドローンによる交通・物流の確保」 ・「キャッシュレス決済の普及・活用」 ・「スマートホームの普及・活用」	・播磨科学公園都市における次世代モビリティサービス導入の検討 ・ドローンの先行的利活用 ・ドローン活用人材育成事業
	②ネットワークによるボーダレスな新システムの普及	場所や組織・モノの所有等既存の枠組みを超えたボーダレスな新システムの普及促進 ・「テレワークの導入」 ・「シェアリングエコノミーの普及・活用」	・在宅勤務システム基盤の整備 ・ICTアドバイザーの設置 ”ひょうごで暮らす！”体験キャンペーンにおけるテレワーク支援
(3)デジタル社会を先導する知の集積	①ICT開発力とデータ応用力の向上	“ICT開発力”やデザイン思考に基づく“データ応用力”を有する人材を兵庫で育て、活かす ・「高等教育における高度ICT人材の育成」 ・「就業者へのICT・データ利活用教育」 ・「課題解決型ICT・データ利活用行政職員の育成」	・先端技術人材集積促進事業の実施 ・行政職員のデータ利活用力の向上
	②高度ICT人材との連携による利活用力向上	・高度ICT人材と連携した、事業者や行政の「組織としての利活用力の向上」	・IT戦略推進事業(高度IT起業家、ITカスマ等の進出支援) ・地域IT人材育成事業

2 活力を高める ～パフォーマンスの向上～ モノづくりやサービス提供のパフォーマンスを向上し、活力を高めます

(1)事業展開におけるクオリティの向上	①ものづくりの自動化・モノの価値向上	・AI・IoT等による「生産工程の自動化・省力化」 ・「モノの管理の自動制御・遠隔操作」 ・「データ利活用によるモノの価値向上」	・産業分野のICT導入支援 ・森林クラウド活用情報高度化事業 ・ひょうごスマート農業の推進 ・衛星データ・AIによる農地耕作状況の把握
	②プロモーションのデジタル化	満足度の高い体験を促す“コトづくり”“交流・循環”の推進 ・「ターゲット別、行動誘発型の情報発信」 ・視覚的・体感的な“伝わる”コンテンツ発信	・スマホ専用ニュース閲覧アプリ「スマートニュース」への県政情報の配信 ・広報媒体の効果的な活用による情報発信 ・ひょうごe-県民登録制度の展開
(2)サービス利用者のユーティリティ向上	①データ利活用によるサービスレベル向上	・高度で時間的制約のない「AI分析によるサービス提供」 ・タイムラグのない「リアルタイム情報の集積・利活用」 ・地理的・時間的制約のない「モバイル端末を利活用したサービス提供」	・「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリによる情報提供 ・チャットボットによる問合せ対応の自動化 ・スマホ・スマートウォッチを活用した高齢者の健康管理支援
	②サービス提供の均質化	・どこでも均質なサービスを受けられる「ネットワーク機能を利用した遠隔地サービスの促進」 ・担い手不足等サービス提供業務を支援する「サービス提供の省力化・低コスト化」	・県立学校等における遠隔学習のための環境整備 ・遠隔カンファレンスの拡充推進 ・生活交通MaaS実証実験に対する支援 ・介護業務における労働環境改善・生産性向上の支援

3 デジタル社会を支える ～基盤の強化～ 誰もが、安全・安心にICTとデータの恩恵を享受できる基盤を強化し、デジタル社会を支えます

(1)デジタルデバイドの解消	①ライフステージに応じたICT利活用能力の向上	・学校教育、職業訓練や多様な学びの場におけるライフステージに応じた県民誰もが身につけるべき「ICT利活用能力の向上」	・兵庫県版プログラミング教育スタートパックの構築 ・高齢者大学講座におけるPC活用講座 ・シニアの多様な働き方創出支援事業
	②データアクセシビリティの向上	・どこでも超高速ブロードバンドや公衆無線LAN等が使える「通信ネットワークの整備」 ・ホームページのスマホ対応や多言語表記など「WEBサイトのユニバーサルデザインの推進」	・県立学校における学びのイノベーションの推進 ・ホームページのスマートフォン対応改修 ・県立学校生徒用貸与端末等の整備
(2)安全安心なICT環境の整備	①サイバーセキュリティの強化	・増加する「サイバー犯罪被害の未然防止」 ・サイバー空間の脅威に対抗するための事業者等の「システムセキュリティ向上」	・産学官連携によるサイバー犯罪被害防止対策の推進 ・サイバー犯罪被害防止教室の開催
	②ICTをめぐるトラブル解消とモラルの向上	・インターネット・SNSの長時間利用など「青少年のICT利活用に関するモラルの向上」 ・デジタルコンテンツの課金や契約トラブル等「ICTに関連する商取引のトラブル抑止・解消」	・ライフステージ等に応じた消費者教育の推進 ・青少年の安全安心なインターネット利用の推進

4 スマート自治体をめざす ～デジタル行政の推進～ デジタル行政を推進し、限られた人的資源で質の高い行政運営を実現する、スマート自治体をめざします

(1)BPR～業務プロセスの見直し～の推進	①行政手続のオンライン化	・「デジタル化推進による行政手続の利便性向上と効率化」 ・「ネットワーク機能活用による県民・事業者の行政への参画」	・電子申請・電子入札・電子申告共同システムの運用 ・行政手続のオンライン化の推進
	②ワークスタイルの変革	・「データとICTツール利活用による業務の自動化・省力化・高度化」 ・「ネットワーク機能活用による多様な業務執行」	・ペーパーレス会議・ストックレスの推進 ・オンライン会議・研修の推進 ・デジタル技術を活用した事務改善の推進 ・テレワーク環境の整備 ・データドリブンの推進 ・市町連携によるAI・RPA等の新技術導入支援
(2)情報システムの改革	①行政ネットワークの高機能化	・高速化・大容量化など高機能化による「通信量の増大への対応と安定稼働」	・兵庫情報ハイウェイの利用促進【再掲】
	②情報システムの強化・最適化	・「情報セキュリティ対策の強化、災害時のシステム安定稼働」 ・「業務処理に最適なシステム構築、システム開発・運用経費の最適化」	・兵庫県情報セキュリティクラウドの運用 ・県庁WAN回線の増強 ・県庁WANのWi-Fi整備